

ネットワークアンケート ③

糖尿病ネットワークを通して

医療スタッフに聞きました

Q. 糖尿病の患者さんは、処方された薬を指示どおりに服用していると思いますか？

糖尿病の経口薬療法では、低血糖を防ぎながら効果を最大限に引き出すために、他の疾患治療薬に比べて服薬の順守がより大切と思われる。医療スタッフのみなさんは、どのような対策を立てているのでしょうか。また、患者さんの服薬コンプライアンスは実際のところ、どのような状況なのでしょうか。

〔回答数：医療スタッフ146（医師38、薬剤師41、看護師37、管理栄養士13、その他17。うち糖尿病療養指導士33）、患者さんやその家族376（食事療法を行っている299、運動療法を行っている249、経口薬を服用している334、インスリン療法を行っている102。重複回答）〕

他の疾患の患者さんと同等と感じている人が約5割で、残りの約5割を、他の疾患の患者さんよりコンプライアンスが「良い」との回答と「悪い」との回答がほぼ半数ずつ分けあいました。特別な傾向が読み取れる数値ではありませんが、記述回答欄にあった「糖尿病の患者さんは指示を守る人と守らない人がはっきり分かれていると思う（臨床検査技師・CDE）」、「人それぞれだが特に糖尿病の患者さんは個人差が大きいように感じる（看護師）」という感想とあわせて考えると、やや興味深い結果です。

Q. 糖尿病患者さんの服薬指導順守のために、なにか特別な対策を行っていますか？

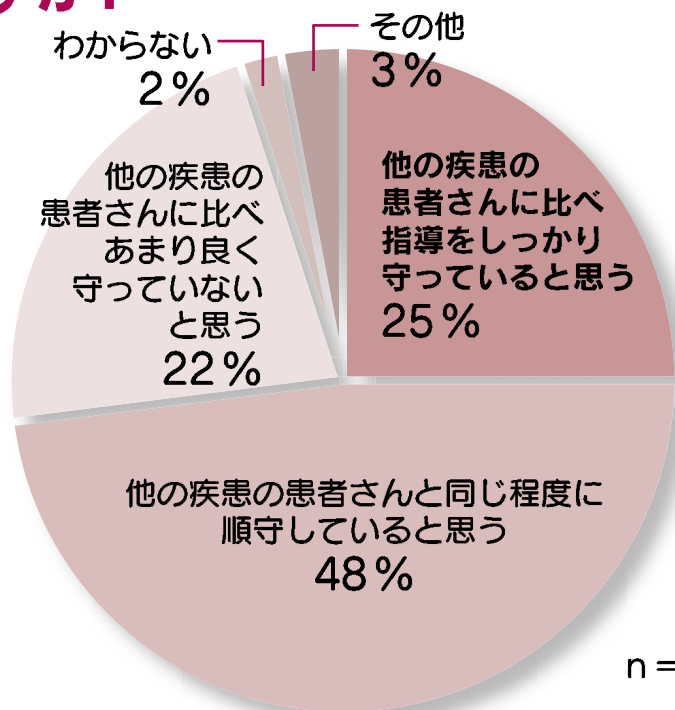
n=142

行っている	37%
行っていない	48%
わからない	12%
その他	3%

「行っている」との回答の中の具体的な事例を紹介します。

SMBG手帳の空欄を利用して自己チェックしてもらう（薬剤師・CDE）/なるべく服薬回数を少なくしてわかりやすくする（看護師）/スタッフ間で栄養指導・服

薬指導の情報を交換し共有する（大学講師・病院業務）/飲み忘れ時の対応文書を渡し指導している（薬剤師）/薬袋にチェック表を添付している（看護師）/なぜその薬が必要なかを繰り返し説明。なぜ順守できないか原因を聞いてみる（薬剤師）/患者さんごとの問診票を作成しHbA_{1c}や血糖値をトレースしながら指導していく（薬剤師）/個々のレベルに合わせて、順守によって得られるメリット・薬理作用・副作用対策・薬を忘れた時の対応を説明し、抱いた疑問は電話や面接などでとことん解決する（薬剤師）/食直前薬の服薬コンプライアンスをあげるため他の降圧薬なども食直前とする（医師。同様の回答が複数あり）/入院中の服薬確認および服薬に関するテスト形式のまとめ（看護師・CDE）/薬局ニュース（月1回の情報誌）や定期的な低血糖指導で薬物療法の重要性を説明（薬剤師・CDE）/診察時に糖尿病手帳の携帯を確認し、残薬を必ず尋ねる。服薬忘れを注意しない（医師）



Q. 患者さんは、薬について心配や疑問を抱いたときに、だれに相談していると思いますか？（複数回答）

棒グラフの上段は医療スタッフの回答（n=145）で、下段は患者さんの回答（右ページ参照。n=376）です。

